

# そらのとり



岩見沢聖十字幼稚園  
園だよりNo. 12  
2026年3月13日発行

## 3月の聖句

「光の子として歩みなさい」  
エフェソの信徒への手紙 5:8

私たちは日々、暗い気持ちや不安、孤独に包まれることがあります。しかし同時に、誰かの優しさや思いやりに触れた時、心が温かく照らされる経験もあるのではないのでしょうか。光とは、そうした小さな希望や愛のことだと言えるかもしれません。自分がその光を持ち、周りに分け与えることができるとしたら、日常は少しずつ変わっていきます。笑顔で挨拶する、困っている人に手を差し伸べる、感謝の言葉を口にする。そんな小さな行動が、周りを明るくし、自分自身も励まされる歩みとなります。「光の子として歩む」とは、自ら光を選び取り、周囲にその明るさを広げていく生き方ではないのでしょうか。

チャプレン 司祭 クリストファー 永谷 亮

### 涙あり笑いあり ♡ すてきなお別れ会

3月6日(金)年長さんと、離れ生される先生たちのお別れ会でした。各クラスからは、とってもしてきた歌とこいのプレゼントがありました。

学級発表もあって、よく長い歌詞やことばを覚えたお友達が、胸がいっぱいになりました。



送る人も送られる人も、思わぬ涙がでるようなすてきな歌でした。

お昼ごはんは、お花のチームに分かれてバイキング！年長さんは小さいのお皿を持ってお手伝いしてくれて、とってからもお皿がたまたまです。



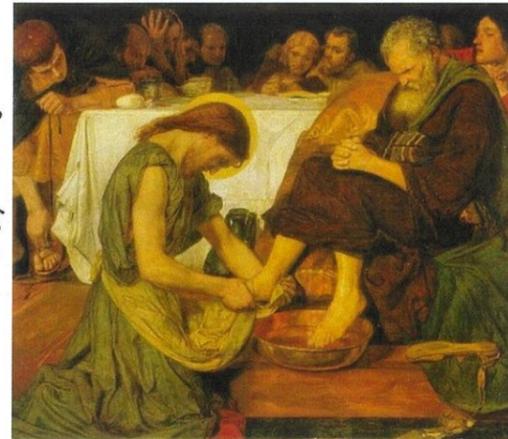
楽しいお昼ごはんが、みんなは年長さんのために手作りしたプレゼントをあげました。みんなに背も服の長もちがうんですね。みんなは大きくなったんですね！

先生方の出し物は、3匹のヤギのパロディでした。あやしい人がいっぱい出てきて大笑い！



### 卒園に向けて洗足式

2000年前、イエス様が処刑される前夜、12人の弟子たちと最後に食事をしたときの事です。弟子たちが「誰が一番偉いか」議論し始めました。イエス様は立ち上がり、たらいに水を汲んで弟子たちの足を洗い始めました。「あなたたちもお互いを大切にしなければならぬ。」そして「人の上に立つ人は皆に仕えるものようになりなさい。」と、謙遜と敬愛の心を教えました。



\*いつも同じ絵でスマセン。とても好きなお絵描きなので...

3月9日(月)は年長さんの洗足式でした。かきこちに緊張していたみんなですが、永谷先生に一人一人「私があなた方を愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい」という言葉をもらいました。



式の後担任の先生に「小学校に行っても家族の人やお友だちや自分のことを大切にできますか?」ときかれ「はい」と元気に返事をしてくれました。まわりの人を大切に優しくできる聖十字幼稚園でいてくださいね。

### 子どもたちを応援してくれたサークルの皆さん



PTAがなくなった今年度も保護者の皆さんは力強く活動してくださいました。手作りのおもちゃが芸術的！足がうごこ！

本格的な楽器からリコーダーまで、すばらしい編曲でチームワークもバツグン！音楽サークル、Link、お父さんお母さんの声に耳をすませ、大きな目でじーっとみつめます。

くるみの木の日はみんなワクワク...いつもの絵本もなにかがう！おみかせサークル、くるみの木

みんな絵本が大好き。ボロボロになった本も魔法のようにきれいに...お父さんお母さんの声に耳をすませ、大きな目でじーっとみつめます。

岩見沢に最後まで雪が降らなかった不思議な年でした。今年度の行事も、いつもお天気に恵まれ、3月の聖句「光の子」のように、どの学年の子どもたちも輝くような笑顔で毎日活動しました。少しずつ自分ができることが増え、お友達と活動する姿はたくましく、一回り大きく成長しました。そんな一年も無事に終わろうとしています。保護者の皆さん、子どもたちや先生たちを、温かく大きな力で支えてくださり本当にありがとうございました。卒園生、転園するお友達、そしてそのご家族の皆さん、これからも聖十字幼稚園を忘れないでください。皆さんが歩む道を神様がずっと見守っています。